

# ノロウイルスにご用心!

## 感染力が強い

患者の吐物や便には、  
大量のウイルスが存在

## 人⇒人 感染症

## 食品⇒人 人⇒食品⇒人 食中毒



## 症 状

潜伏時間: 24~48 時間

嘔吐、下痢、腹痛、  
発熱(37~38℃)

発症したら、吐物の誤嚥や  
脱水症状にご注意ください。

医療機関の受診をおすすめ  
します。

症状が治まるのに 3 日ぐらいかかります。ただし、症状がなくなっても、  
1週間以上はウイルスが便中に排出され、感染源となります。

## どうやって防ぐの?

- 1 ウイルスを手から洗い流す。
- 2 ウイルスをひろげない。

☆ 症状があるときは、休養し、人に食品をふるまうのは、極力控える。

☆ 吐物や糞便は、確実に処理・消毒する。

放置すると、ウイルスが空中に広がり空気感染につながります。

- 3 ウイルスを殺す。

☆ 加熱殺菌する。食品は中心部が 85℃1分以上になるように加熱する。

☆ 次亜塩素酸ナトリウム(200mg/l)による消毒が有効!

(アルコールや逆性石けんは効きません。)

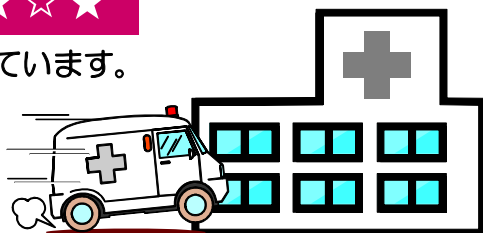
トイレ使用後は  
必ず手洗い!



## 救急医療についてのお願い

## ☆☆☆ 夜間、休日の救急外来について ☆☆☆

医師不足等の問題により、救急医療体制への負担が増大しています。軽症であっても、夜間や休日に救急外来を受診される方が増加すると、本来受け入れるはずの重症患者をすぐに受け入れることができない恐れがあります。



## ☆☆☆ お医者さんへの上手なかかり方 ☆☆☆

## 1 かかりつけ医をもちましょう

日ごろから最寄りの開業医の先生をかかりつけ医としてもち、ご自身や家族の方々の健康、病気のことを相談しましょう。

## 2 診療時間内に受診しましょう

忙しいからと受診せず、長い間病気を我慢していると、症状がひどくなって長引くこともあります。おかしいなと思ったら、かかりつけ医の診療時間内に受診しましょう。

## 3 夜間、休日に急病で受診するときは

それでも、夜間、休日に受診の必要に迫られたときは、まずかかりつけ医に電話で確認して受診するか、地域の夜間・休日診療所や在宅当番医に連絡して受診しましょう。



## 小児の病気で医療機関に受診するか迷ったら

けいれんが止まらない・意識がない・呼吸が苦しい など、保護者の目から見て、明らかに緊急を要する急病の場合は、迷わずに「119番」をご利用ください。

夜間の子どもの急病時、病院に行ったほうが良いかどうか判断に迷った時に「小児救急電話相談」をご利用ください。

## 小児救急電話相談

土曜日・日曜日・祝日・年末年始 午後7時から午後11時まで  
看護師（難しい事例は小児科医）による救急電話相談を行っています。

## 【相談電話番号】

# 8000(短縮番号) ※携帯番号はご利用いただけません  
または 052-263-9909 (短縮番号が使えない時)

